

リーディングDXスクール事業【実践事例】

横浜市立高田中学校

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家との学びのシーンでのオンライン活用」



2学年 美術・総合的な学習の時間

授業 **オリジナルカップ麺をつくろう** (R1年度より毎年実施)

めあて：社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育む

※外部講師：商品開発者、外部専門家：アートディレクター

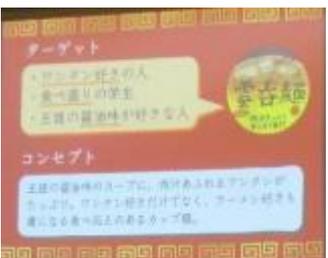
【自分だけのラーメンを作るためのプレゼン作成】
 起業体験・地域貢献に関する学習の一環として、商品開発者など複数の企業に対してオンライン活用と学校訪問を組み合わせた取り組みを行った。
 カップラーメンのパッケージを美術の時間に関連付けてデザインし、そのラーメンのコンセプトや売りなどについてPRするためのプレゼン資料をGoogleスライドで作成した。プレゼンの中から代表作品を選び、実際の企業が実施するような選定の手続きも体験した。

 **教科担当の先生のコメント**
 4年前から実施している内容ですが、以前は端末を貸し借りしながらプレゼンを作成していた。現在は一人一台なので、自分のペースで時間をかけながらじっくりと家庭においても資料作成を実施できるようになった。その結果内容の充実とともに生徒自身がすすんで学びに向かう姿が見られた。また、教職員と外部の方との打ち合わせは授業の空き時間にオンラインを活用した。



《授業の流れ》

- 1 食育講座**
「出汁の秘密」
出汁の組み合わせで味が変わるなど商品開発を体験
- 2 外部講師とのセッション**
商品開発に関する講義を通してポイントを学ぶ
- 3 カップ麺の蓋デザイン**
プレゼン資料作成
蓋のデザインを作成、およびプレゼンテーションの講師より効果的な資料作成、プレゼン実施方法について受講
- 4 商品選考会**
代表者によるプレゼン後、アンケートツールで製品化されるカップ麺の決定
- 5 外部専門家とのセッション**
代表作品を外部専門家の手で実際の蓋へとデザインしてもらう
- 6 カップ麺完成**
選ばれたカップ麺が生徒に届く



*上の写真は2019年実施時のものです

*上の写真は2019年実施時のものです